

## 富良野市における調査結果の概要

### ～全国・全道との比較における考察～

平成26年12月富良野市学力向上推進プロジェクト

#### 《調査概要》

##### ◆調査目的

- ◇全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

##### ◆調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

##### ◆調査内容

- ①教科に関する調査(国語、算数・数学)
  - ・主として「知識」に関する問題
  - ・主として「活用」に関する問題
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

#### 《調査結果》

##### ◆教科に関する調査(国語、算数・数学)

###### 【小学校】

国語の「知識」に関する問題は、全道平均正答率を上回り、全国平均正答率と同値である。国語の「活用」に関する問題は、全道平均正答率と同等である。

算数の「知識」に関する問題・「活用」に関する問題のいずれにおいても、全道平均正答率と同等である。

###### 【中学校】

国語の「知識」「活用」に関する問題、数学の「知識」「活用」に関する問題の全てにおいて、全道平均正答率を上回り、さらには、全国平均正答率をも上回る結果である。

##### ◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

###### 【学校質問紙】

- ◇礼儀正しく、授業中の私語も少なく、落ち着いていると回答した割合が共に高いが、中学校では顕著に高い。

◇授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた授業を行っている割合が高い。

◇学習規律（私語の禁止、話し方や聞き方、チャイム着席）の維持を徹底している割合が高い。

◇地域の人材を外部講師として招請した授業を行った割合が高い。

#### 【児童生徒質問紙】

◇ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある割合が高い。

◇家の人が授業参観や運動会などの学校行事に来る割合が高い。

◇家で学校の宿題をしている割合が高い。

◇学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある割合が高い。

◇人の気持ちが分かり、人の役に立つ人間になりたいと思う割合が高い。

◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている割合が高い。

◇授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていたり、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う割合が高い。

◇今回の全国学力・学習状況調査において、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した割合が、小学校では算数で、中学校は国語で高い。

### 《調査結果に基づく考察》

#### ◆小学校

◇教科に関する調査では、全国平均正答率と同値である国語の「知識」に関する問題の「読むこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で高い正答率となっている。全道平均正答率と同等の国語の「活用」に関する問題では、「話すこと・聞くこと」の領域でやや高い正答率となっている。

算数については、「知識」に関する問題では「数量関係」の領域で、「活用」に関する問題では、「数と計算」の領域で全道平均正答率が同等となっている。

なお、国語・算数ともに、記述式問題の解答に課題が見られることから、引き続き基礎・基本の確実な習得を図ると共に、考えを深めたり文書を書いたりする授業の工夫・改善に努めてまいります。

#### ◆中学校

◇教科に関する調査では、国語・数学の「知識」「活用」に関する問題の全てにおいて、全国平均正答率を上回る結果となっている。

国語では、「知識」に関する問題の全ての領域において全国平均正答率を上回るものの、「読むこと」の領域では同等の正答率となっている。「活用」に関する問題では、調査した「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域で高い正答率となっている。

◇数学では、「知識」に関する問題を構成する「数と式」「図形」「関数」の領域で全国平均正答率を上回るものの、「資料の活用」の領域で全国平均正答率を下回っている。

「活用」に関する問題では、「数と式」「関数」「資料の活用」の領域で全国平均正答率を上回るものの、「図形」の領域で全国平均正答率をやや下回っている。

国語・数学のいずれの問題形式においても記述式の問題の正答率が全国平均を上回ることから、基礎・基本の確実な定着を図るきめ細かな指導とともに、生徒の考えを深めたり文書を書いたりする場面を増やす授業改善が着実に進められてきた結果といえる。

◇平成23年度の調査との比較（震災のため、全道平均正答率のみ）

中学3年生が小学校6年生の時に実施された調査結果と比較すると、小学校6年時においても、国語の「活用」算数の「知識」「活用」のいずれにおいても、全道平均正答率を上回っていた。小学校から中学校への円滑な接続が行われ、中学校においても指導方法を改善・充実させながら、協同体制で生徒一人一人のよさを伸ばす指導に努めてきた結果といえる。

#### ◆小学校・中学校共通

◇小学校では、国語の「知識」に関する問題を除いて全国平均正答率に及ばないものの、中学校では着実な成果を上げてきていることから、小・中学校を通じて理解の程度に応じたきめ細やかな指導が行われきた成果と評価している。

◇学力調査結果を各校で分析し、授業改善に努めている。

◇ふらの演劇祭事業等を通して、演技力の向上はもとよりコミュニケーション能力の向上が見られ、国語力の向上にもつながっている。

#### ※求められる授業改善の取組

- 授業ごとに「つきたい力」を明確にし、到達させるための手立てを講じましょう。
- 「根拠」に基づいて「理由」をつけて考えを書いたり話したりする場面を積極的に取り入れた授業を工夫しましょう。
- 授業中に子どもの理解の状況を丁寧に見取り、定着の状況を把握し、実態に即した意図的な働きかけをしましょう。
- 児童生徒が「分かった、できた」を実感できるように授業に「まとめ」と「振り返り」を位置づけましょう。

この調査結果を踏まえ、学力向上に向けた取り組みを、『第2次富良野市学校教育中期計画(平成25年度~平成29年度)』及び『富良野市ZERO運動』を基軸とし、充実した教育活動が展開できるよう推進していきます。

#### 『第2次富良野市学校教育中期計画(平成25年度~平成29年度)』

学校教育中期計画(平成20年度~平成24年度)は、「自立と共生の未来を拓く、心豊かでたくましい人を育む」ことを基本理念に掲げ、策定された計画です。この間の成果と課題を土台とし、子どもたちが変化の激しい時代をたくましく生き抜き、自らの未来や社会を拓く「生きる力」をオール富良野で育てていくため、第2次学校教育中期計画(平成25年度~平成29年度)を策定しました。

#### 『富良野市ZERO運動』

ZERO「0」は、教育の原点であり、和(輪)を表わす「学び」を支える象徴として捉えることができます。「ZERO運動」は、各学校や教職員等が、教育の原点を見つめ直し、主体性や向上性を基軸として教育実践の輪を広げていくことを意味しています。

# ～ほめて伸ばそう 子どもの学力～

行政、学校、家庭、地域社会が連携し、  
確かな学力向上に努めます。

## ■教育委員会

- 学校、家庭、地域が一体となって取り組める体制づくりを推進します。
- 外部講師等の協力による継続的な授業の支援を推進します。

## ■学校

- 現状把握により明確な目標を設定し、学校全体で一つの課題に取り組む体制づくりに努めます。
- 学習への関心・意欲の向上を図り、学習の悩みゼロに努めます。
- 基礎・基本の確実な定着を図るため、指導体制・方法の工夫改善を図ります。
- 児童生徒が発表する場面や体験活動等を充実し、活用力を育てます。
- 家庭や関係機関と連携し、個に応じた特別支援教育の充実を図ります。
- 学校間・校種間の連携と円滑な接続に努めます。
- 予習・復習の仕方や必要性を自覚させ、家庭学習の定着化を図ります。

## ■家庭

- 『家族の約束7カ条』を推進しましょう。
- 日常生活での積極的なコミュニケーションに努めましょう。
- 規則正しい生活習慣と宿題のみならず、計画的な家庭学習（予習・復習）に取り組みましょう。  
※ 小学校6年で毎日70分以上、中学校3年で毎日100分以上取り組みましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん、みんなそろって晩ごはん」を実践しましょう。
- 「ほめて、伸ばす」家庭教育に取り組みましょう。

## ■地域

- 積極的に子どもたちと触れ合いましょう。
- 学校の応援団として、学校支援ボランティアへ登録しましょう。
- 学校の授業公開へ積極的に参加しましょう。

## 富良野市学力向上推進プロジェクト

(富良野市PTA連合会・富良野市校長会・富良野市教育委員会)

# 家族の約束7か条

## 「すべては子どもたちのために」を合言葉に

1. 学習や生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん・みんなそろって晩ごはん」運動に取り組みましょう。
2. NOテレビ・NOゲーム・NOインターネットの日を設けて家族で読書に親しみ「絆」を深めましょう。
3. 学校行事やPTA活動に積極的に参加しましょう。
4. 子どもの危険信号(SOS)に早く気づき心配事は39-2333番(教育相談直通電話)へ電話しましょう。
5. 携帯電話・インターネットなどのネット被害から子ども達を守るため「家族のルール」を基本に家族の「絆」を深めましょう。
6. 授業参観や家庭教育(子育て)セミナー、講演会に積極的に参加しましょう。
7. 子育て家庭教育ハンドブックを活用し家族の「絆」を一層深めましょう。

富良野市PTA連合会・富良野市教育委員会

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境を
- 認め、励まし、対話のある温かなかわりを



家庭で

## 学ぶ力



## 心身の健康

- 基礎学力をつけ、学び方を教え、子どもが思考を巡らす課題や発問が提示される授業を

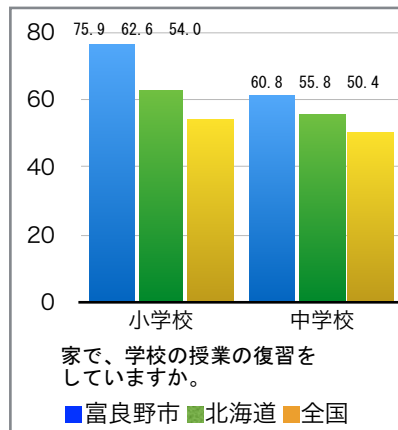
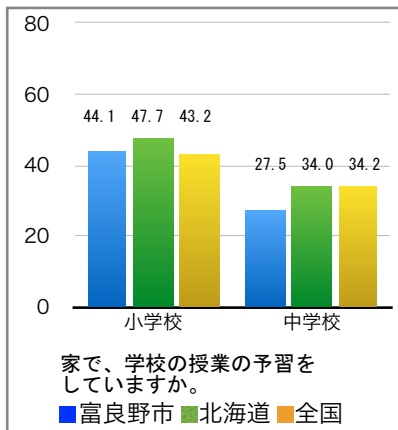
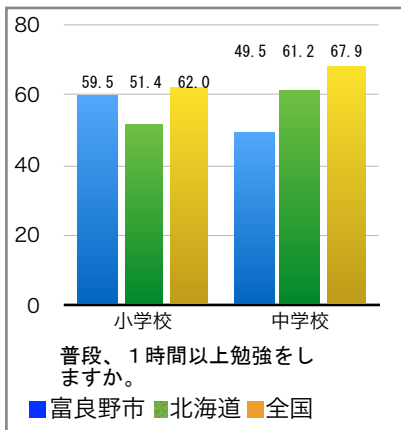


学校で

## 「資料2」 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査(抜粋)

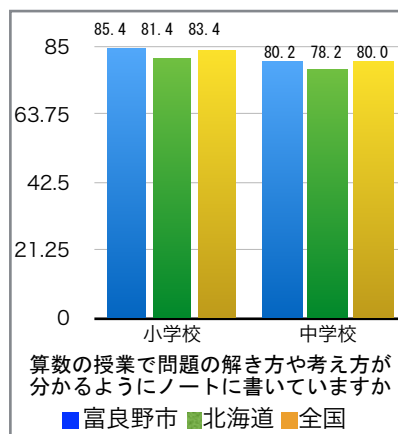
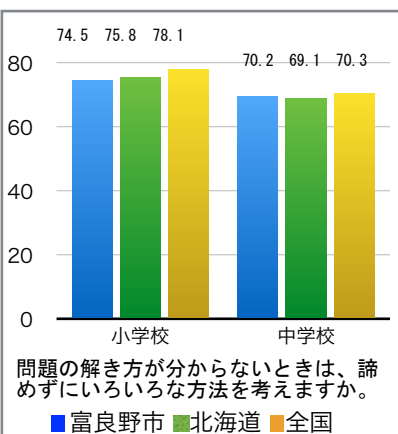
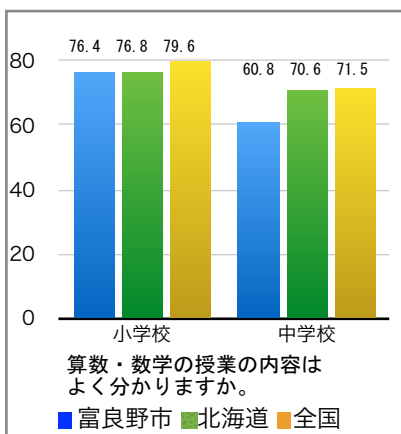
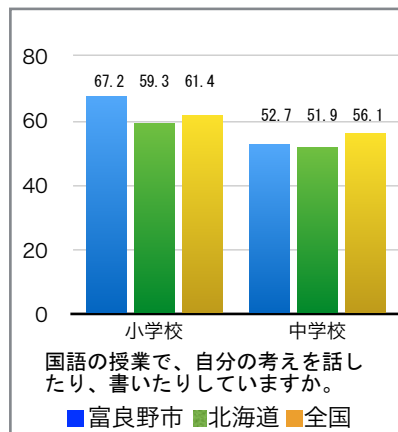
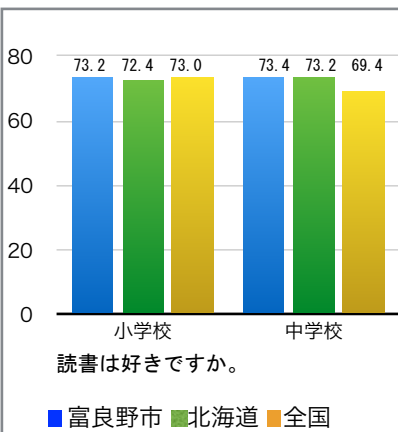
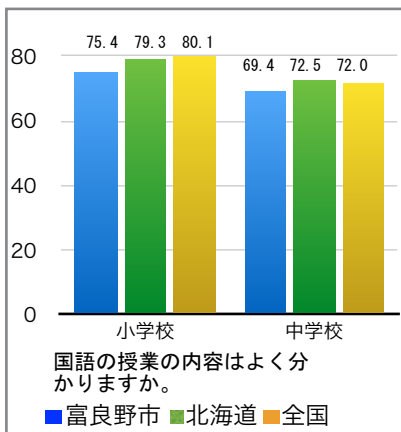
### 【児童生徒質問紙】

#### ○学習習慣について



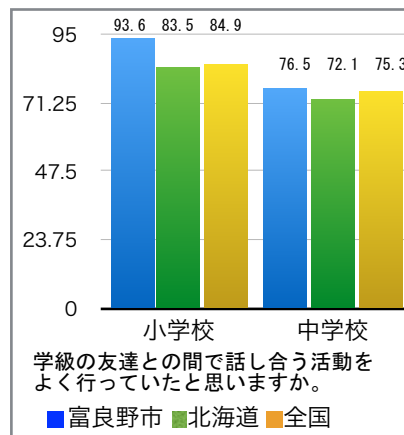
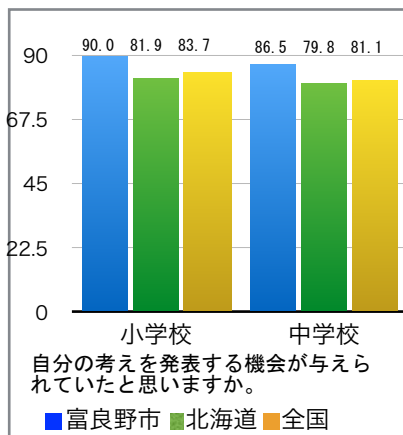
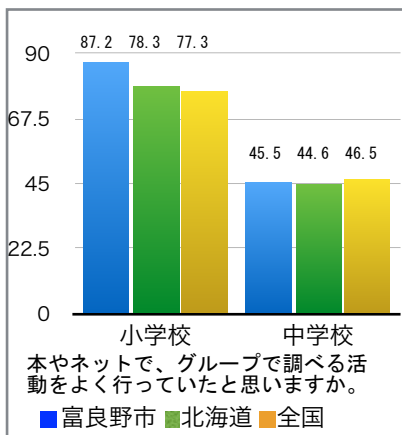
家庭学習の重要性を呼びかけてきたことで、宿題や復習に取り組むようになってきている状況が見られる。しかし、家庭学習に充てる時間は今年度も全国平均に比して低く、2時間以上家庭で勉強している割合となると全国に比して半分近くである。家庭での学年に応じた学習時間を確保するためにも、生活習慣を含めた家庭の協力が求められる。

#### ○学習（国語、算数・数学）について



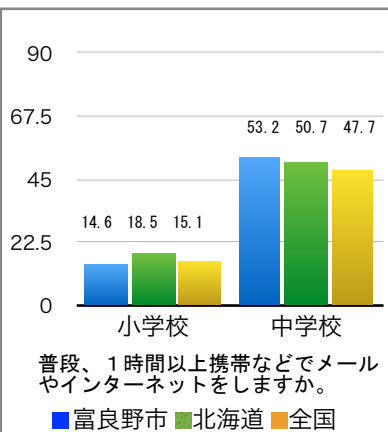
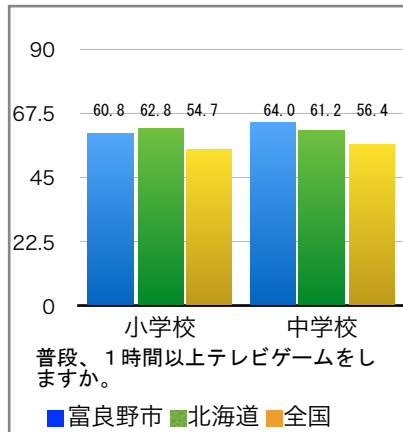
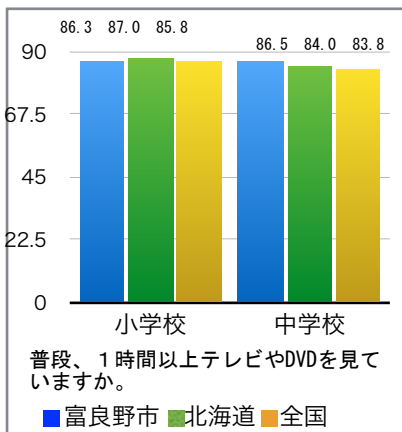
中学校では学習内容の難易度が高くなることから、「授業の内容がよく分かる」と回答した割合は小学校の方が高い。「読書が好き」「自分の考えをノートに書く」と回答した児童生徒の割合が高いことから、これまでの読書活動の取組や授業研究の充実が着実に進められてきていることの成果が現れてきていると言える。

○学校での学習活動について



これまで取り組まれてきた図書館活動やICTの充実の成果が児童生徒の回答に現れている。また、演劇教育・少年の主張・子ども未来づくりフォーラム・新聞コンクール等の取組を通して、大勢の前で表現する活動への地道な取組の成果がこの数値となったと受け止めている。

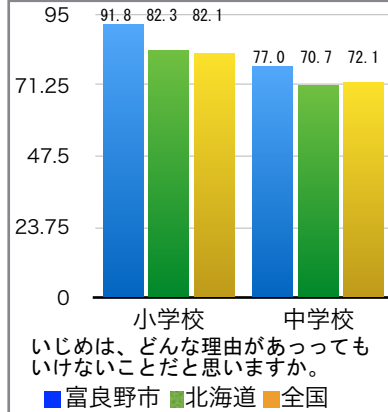
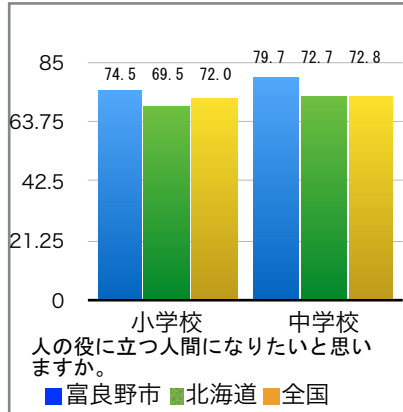
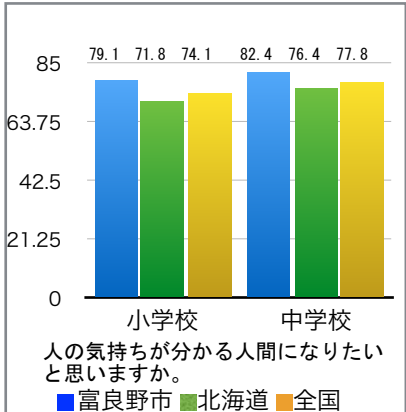
○家庭でテレビやゲーム・インターネットに充てる時間



家で、1時間以上の視聴時間の児童生徒が80%を超える。また、1時間以上テレビゲームをしている児童生徒が60%以上であることから、過半数の児童生徒が家庭で過ごす時間の2時間以上をテレビやゲームに充てていることになる。更に、1時間以上メールやネットをする生徒が半数を超えることから、家庭学習の時間を十分確保できていない状況にあるといえる。

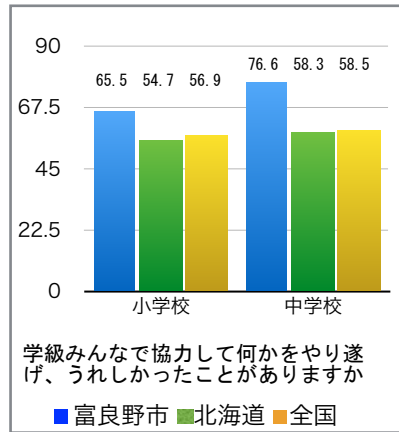
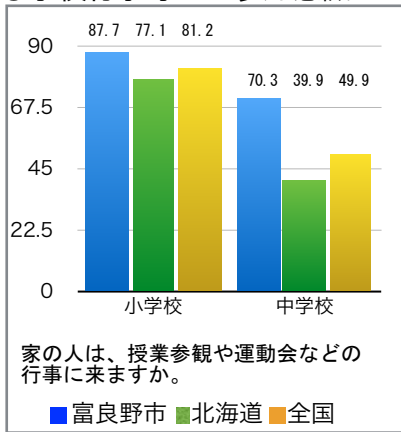
○児童生徒の規範意識について

(\*5択のうち、「当てはまる」と回答した数値のみで比較)



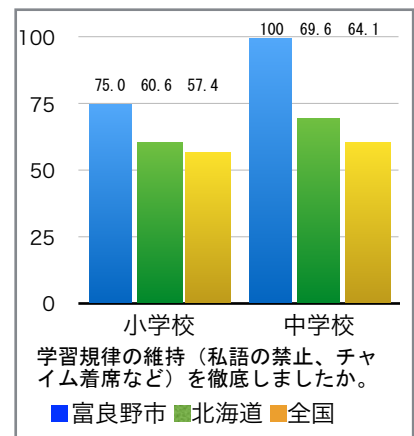
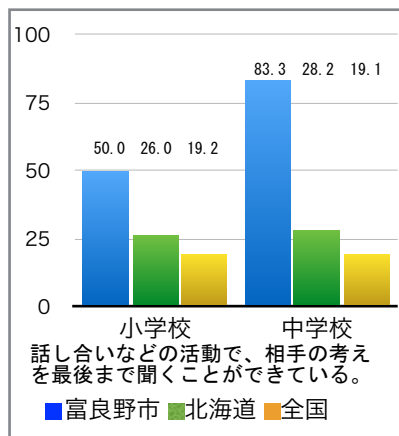
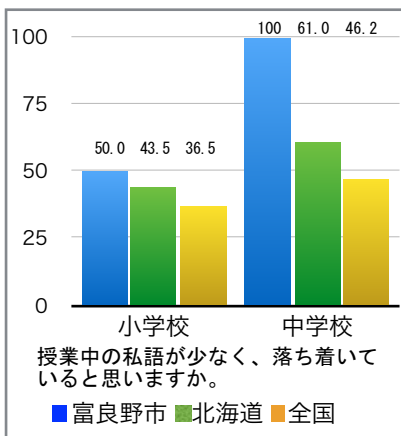
「ZERO運動」、「人権運動」、「あいさつ運動」など、学校での日常的な取組の成果が児童生徒の回答に現れている。

○学校行事等への参加意識 (\*5択のうち、「当てはまる」と回答した数値のみで比較)



本市児童生徒の仲間と協力して取り組んだ達成感の高さは、保護者の学校行事等へ参加意識の高さに裏打ちされていることがうかがえる。

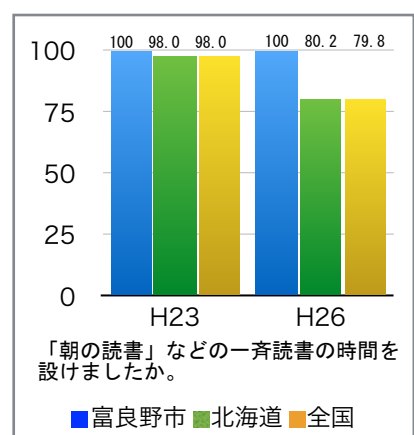
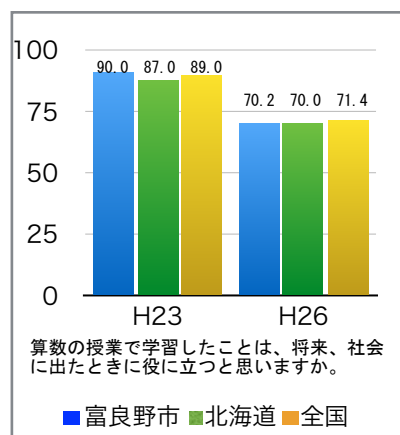
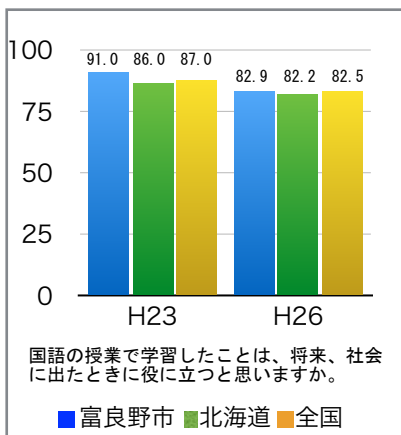
【学校質問紙】 (\*5択のうち、「当てはまる」と回答した数値のみで比較)



学校での授業態度は、落ち着いていて真面目に学習に取り組んでいる様子が見え、特に中学校での各項目の割合が高いことから、日頃の授業態度のよさが中学校での平均正答率が全国・全道平均を上回ったことにつながったと言える。

《資料3》 中学校3年生(平成26年度)の小学校6年時(平成23年度)との比較

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査(抜粋)



中学校3年生が、小学校6年生の時に同じ質問に回答した結果とを比較したのが上記のグラフである。小学生の時から国語や算数を勉強することの意義を理解し、意欲的に学習に取り組んできた事が読み取れる。こうしたことも、今回の全国学力調査で国語・数学の「知識」「活用」に関する問題の全てにおいて、全国・全道平均正答率を上回る結果の一因になったと考える。